

## 視覚障害

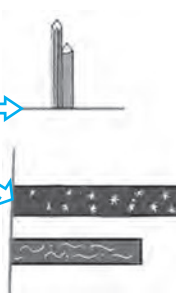
- (1) 児童生徒が聴覚、触覚及び保有する視覚などを十分に活用して、具体的な事物・事象や動作と言葉とを結び付けて、的確な概念の形成を図り、言葉を正しく理解し活用できるようにすること。
- (2) 児童生徒の視覚障害の状態等に応じて、点字又は普通の文字の読み書きを系統的に指導し、習熟させること。なお、点字を常用して学習する児童生徒に対しても、漢字・漢語の理解を促すため、児童生徒の発達の段階等に応じて適切な指導が行われるようにすること。
- (3) 児童生徒の視覚障害の状態等に応じて、指導内容を適切に精選し、基礎的・基本的な事項から着実に習得できるよう指導すること。
- (4) 視覚補助具やコンピュータ等の情報機器、触覚教材、拡大教材及び音声教材等各種教材の効果的な活用を通して、児童生徒が容易に情報を収集・整理し、主体的な学習ができるようにするなど、児童生徒の視覚障害の状態等を考慮した指導方法を工夫すること。
- (5) 児童生徒が場の状況や活動の過程等を的確に把握できるよう配慮することで、空間や時間の概念を養い、見通しをもって意欲的な学習活動を展開できるようにすること。



指導形態、指導方法等を弾力的に考えることが大切です。視覚を中心とするのか視覚以外の感覚を中心として学習を行うのか、読み書きの速さほどの程度かなどの実態把握が必要です。視力などの視機能障害の程度だけでは判断できない場合も少なくないので、実態に応じて慎重に検討します。

### 弱視 小学校

### どちらが長い？

<p><b>算数</b></p> <p><b>実態</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拡大教科書を使用</li> <li>・単眼鏡を使用</li> <li>・物の整理が苦手</li> </ul>	<p><b>算数</b></p> <p><b>目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直接比較の方法で長さを比べることができる</li> </ul>
<p><b>実践</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長さの比べ方を考えよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>鉛筆を比べよう…「下に合わせる」という言葉と合わせる基準をはっきりさせる</li> <li>ひもを比べよう…基準となる線に合わせてときに、ひもを伸ばすくっつける、並べるなど、自分で実際に操作しながら比べる</li> <li>モールを比べよう…基準となる線に合わせてときに、モールを広げる、伸ばす、並べるなど、実際に操作しながら比べる</li> </ul> </li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: 40%;"> <p>この線が基準になる</p> </div>  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: 45%;"> <p>ものの長さを直接比べるポイントとして、一方の端を揃えたり、曲がっているものはまっすぐに伸ばしたりすることなどを理解できるようにする</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: 45%;"> <p>授業中も、日常生活でもできるだけ指示語を使わないで話すことを意識する</p> </div> </div>	
<p><b>担任の願い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「下とは何か」「合わせるとはどういうことか」など、言葉が表す概念と実際の活動が結び付くように題材を考える</li> <li>・空間概念を養うために、自分の身体を基準とした上下・前後・左右などの位置関係を把握する力を育てる</li> <li>・児童が考える時間、試す時間、自分なりに解決できる時間を確保し、達成感や成就感を得られるようにする</li> <li>・授業の流れや活動の手順を設定したり、活動の最初から最後までを通して体験できるようにしたりして、時間の概念を養う</li> </ul>	